

バスケットピンポン

バスケットピンポンは、ごく狭い場所でも楽しめるように考案されたミニ卓球の一種です。小さな台の両端には直径 10cm の穴があり、ボールはその下のバスケットに納まる仕組みになっています。このバスケットがゲームの由来で、“バスケットピンポン”と名付けられました。台が小さいため、運動量がそれほど多くありません。パワーよりは、微妙なコントロールや鋭い反射神経が要求されます。

用 具

☆コート

12mm 厚の木製品で規格球を 30cm の高さから落として 18 ～ 24cm のバウンドをするもの。

表面は無光沢濃緑色とし、周囲及びバスケットホールの周囲に 1 cm の白線のあるもの。

☆ピン球

無光沢のセルロイド製。周囲 12.23cm。重さ 2.13 g

☆ラケット

赤、青の単色ラバーをつけたものを一対とする。

ラバー表面に何も塗ったり貼ったりしてはいけない。

☆ネット

ネットの高さはコートより 8 cm とし、上部は白テープ。

下部はコートより 2 cm 以上はなれてはいけない。

場 所 (コート)

☆長さ 3 m、幅 1.5 m を標準とする。

人 数

☆個人戦 (1 人対 1 人)

☆団体戦 (3 人対 3 人)

	
運 動 量	★★
技 能	★★★
準 備	★★

■ ルール（進め方）

- ①サーブは1本。サーブにはラケットを使わない。ラケットを持たない側の手のひらにボールをのせ、自陣コートにボールを投げ当て、そのバウンドでネットを越え、相手コートに入れる。
- ②自陣コートでワンバウンドしたボールが、ネットを超えてノーバウンドで相手のバスケットに納まったときを、ストライクと呼ぶ。
- ③ストライクはノーカウントとし、次のサーブはストライクを出したサーバーが決める。
- ④打ち返したボールをノーバウンドで相手コートのバスケットに入れることをヒットといい、2点が与えられます。

【勝敗の決め方】

- ①1セット11点、または12点を先取する。ただし、1回以上のヒットを含んだ得点でなければならない。
- ②ヒットを含まず、10点になったことを“ノーヒット・テン”といい、点数は10点でストップする。10点になったときに、相手が0点ならセットを取ることができる。セットを取るためには、ヒットを1本取るか、それ以後の勝ち点分を相手の得点から減点し、相手の得点が0点になったとき、このセットを取ることができる。
- ③3セットマッチで、2セット先取した方が勝ち。

【反則】

- ☆ノーバウンドの球をコート上で、ラケットまたは身体の一部でタッチした時はヒットと判定する。
- ☆ノーバウンドの球をコート外で、ラケットタッチした時は相手方得点1点。
- ☆バスケット中に予備のボール等を入れた時、またはバスケットに触れ、ヒットまたはストライクを妨害した時は、サーブにおいてはストライクを、それ以外はヒットと判定する。
- ☆ネットを越えて相手コート上の球を打った時は相手方得点1点。
- ☆ボールインプレー中に故意にコートを移動させた時はヒットと判定する。
- ☆次のサーブを目的として、故意に球を移動させてはならない。この場合は球を元の位置にもどす。